



21世紀かながわ円卓会議第1回ミニシンポジウム

外国人住民が抱える課題と 社会参加を考える



撮影：浅野剛

岡崎広樹

1981年、埼玉県生まれ。人口5,000人の内、2,800人以上が外国人の芝園団地に、2014年から住み始める。現在、自治会事務局長。

地元外部の学生団体「芝園かけはしプロジェクト」と協働し、外国人住民を交えて地域づくりを進める「開かれた自治会構想」を推進。また、欧州評議会Intercultural Cities programmeの調査や第2次川口市多文化共生指針策定委員を務めるなど、様々な視点で多文化共生の地域づくりに携わる。

中央公論や朝日新聞出版「Journalism」などへの寄稿や講演などを通じて、隣近所が外国人になる時代を考えるきっかけづくりにも精を出す。自治会は、2017年度国際交流基金「地球市民賞」を受賞。個人として、2018年度日本青年会議所「人間力大賞総務大臣奨励賞」を受賞。



プラニク・ヨゲンドラ

インド出身。通称よぎ。インド西部ブネ市州立大学経済学部国際経済学科修士課程およびインド国立ビジネス・スクールIIMカルカッタ国際経営プログラム等修了。銀行、金融、教育等の分野においてプロセス構築、情報技術、業務管理の20年以上にわたる国際経験を持つ。

2005年に在日インド人が多く暮らす東京都江戸川区に居を構え、長年に渡り地元自治会活動やPTAなどに積極的に参加し、インド人と日本人の懸け橋となる。2012年に帰化。2019年4月の地方統一選挙で立憲民主党から出馬し、江戸川区議会議員として初当選。

【モデレーター】



塩原良和

1973年生まれ。慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（社会学）。東京外国語大学外国語学部准教授などを経て、現在、慶應義塾大学法学部教授。研究領域は国際社会学、移民・外国人政策、多文化主義・多文化共生研究。主著に『分断と対話の社会学』（慶應義塾大学出版会、2017年）、『分断するコミュニティ』（法政大学出版局、2017年）、『共に生きる』（弘文堂、2012年）、Cultural and Social Division in Contemporary Japan（共編著、Routledge、2019）など。

◆日時

2019年11月2日(土)
13:00-16:00

◆定員

30名

◆参加費：無料

◆会場：横浜情報文化センター大会議室
(詳しくは裏面)

【趣旨】

グローバル化に伴い地域の多文化化が進む中、神奈川県ではヘイトスピーチや外国人居住者との共生における様々な課題が見られます。また、2019年4月には、外国人労働者の受入れ拡大を目的とした改正入管法が施行されました。このような背景を踏まえると、今後さらに多文化共生社会を築き上げていくためには、異なる背景を持つ人同士の信頼関係を構築しながら、より良い社会を目指して多様な人と協働する姿勢や意識を育むことが重要ではないでしょうか。

第8次（2018・2019年度）21世紀かながわ円卓会議では、こうした趣旨のもと研究会を立ち上げ、神奈川県などの事例を通して研究者や実務家、ジャーナリスト、運営委員の方々と議論を重ねてきました。そして、今回のシンポジウムでは「地域での活動」という切り口から、外国人住民が多い地域において日本人と外国人の共生を促進する活動をされている方からお話を伺います。

*本ミニシンポジウムは3回シリーズの第1回目です。第2回ミニシンポジウムは「多文化共生に関する教育」について、若い世代のスピーカーから、自身が受けてきた教育等を踏まえつつ、多文化共生社会を築く上で大切な視点についてお話を伺います（12月14日(土)午後開催）。第3回は、2020年2月15日(土)午後に鈴木江理子さん（国土館大学教授）を招いて2年間のまとめとなる総括シンポジウムを開催します。

【主催】（公財）かながわ国際交流財団

【共催】神奈川県、NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター

【後援】ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク／一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト／NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ



【交通アクセス】

◆電車：JR「関内駅」南口より徒歩10分／横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口より徒歩10分／みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口直結
◆バス：市営バス「日本大通り駅 県庁前」バス停徒歩1分（横浜駅東口バスターミナル／横浜そごう1Fより8・58系統乗車15分。もしくは、桜木町駅バスターミナルより8・11・58系統乗車10分。

【申込み】メールまたはFaxにて、①氏名、②所属、③住所（市町村名まで）、④ご連絡先（メールアドレス等）、⑤本シンポジウムを知った媒体について記載の上、10月25日（金）までにお申し込み下さい（先着順。定員30名）。
※今回のシンポジウムお申込みにあたってご記入頂いた個人情報は当財団のみが取扱い、本シンポジウムの事務連絡以外の目的には使用致しません。

【申込先】メール：entaku@kifjp.org Fax: 046-858-1210

【お問合せ】（公財）かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター（西山・清水） TEL：046-855-1821

【当日スケジュール】

時間	内容
12:30～	受付開始
13:00	開会&あいさつ
13:10～（10分）	外国人住民が抱える課題に関する報告（事務局）
13:20～（40分）	事例紹介（江戸川区／プラニク・ヨゲンドラ）
14:00～（40分）	事例紹介（芝園団地／岡崎広樹）
14:40～（20分）	休憩
15:00～（50分）	パネルディスカッションおよび質疑応答
15:50～	閉会あいさつ

【21世紀かながわ円卓会議運営委員会】（五十音順）

- ・小川 泰子（社会福祉法人いきいき福祉会理事長／ラポールグループ総合施設長）
- ・樺山 紘一（印刷博物館館長／東京大学名誉教授）
- ・黒田 玲子（東京大学名誉教授／中部大学総合工学研究所特任教授）
- ・高島 肇久（株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）
- ・林 義亮（神奈川新聞社顧問／神奈川新聞厚生文化事業団理事長）

【21世紀かながわ円卓会議研究会メンバー】（五十音順）

- ・辰野まどか（一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GiFT）代表）
- ・山田貴夫（ヘイトスピーチを許さない川崎市民ネットワーク事務局）
- ・山根俊彦（NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ((ME-net))理事）
- ・柳晴実（外国籍県民かながわ会議委員／NPO法人すまいサポートセンタースタッフ）
- ・渡部清花（NPO法人WELgee代表）

